

ホットな地域の話題 -新規就農者編-

名前

さいとう
齋藤

けんご
賢悟



経営の概要

- ✖ 地域 雨竜町
- ✖ 品目 メロン、そば
- ✖ 就農年月 令和7年3月
- ✖ 前職 料理人

就農しようと思ったきっかけ

関東出身で、客船の料理人として働いていたが、人間が生きるために必要な食料生産を仕事にすることは、今後強みになると考えたこと、趣味のバイクで北海道に来たことがあり、将来は田園風景の中で暮らしたいと思ったこと等から、農業に興味を持った。

就農に当たって下調べをする中で、雨竜町が農業支援の地域おこし協力隊員(以下、協力隊員)を公募しているのを知り、将来的に就農することを目指して応募。その後、協力隊員として町内のメロン農家で2年半研修し、メロン栽培や農機具の操作等について学んだ。

独立するタイミングで離農するそば農家がいたので、第三者継承で農地や農機具等をそのまま引き継ぐ形で就農。

就農してよかったこと・苦労したこと

個人事業主のため、自由に作業計画を組み立てることができる。その分、計画がうまくいかなかった時は自身の経営に大きく影響するのでプレッシャーがある。

また、協力隊員の任期中に営農の全てを教わるわけではなく、**自分の土地に合う栽培方法を試行錯誤しながら考えていく必要があるが、それが楽しくもあり、大変でもある。営農上の課題を一人で抱えず相談できるように、普段から人とのつながりを作るのが大事である。**

自分が作ったメロンを食べた近隣の農家や親戚などから、品質や味の評価をいただくことが嬉しく、励みになっている。

今後の展望

当面は町内の農家から学びながら、安定した経営を目指したい。

将来的には水稻にも挑戦したい。また、メロンの栽培面積を増やし、少しずつ経営を発展させていきたい。